

2 いのちはつながっていく

～そだててみたよ やさいのきれはし～

1. 研究の動き

「このじゃがいも、半分くさってる！」お母さんがさげんだ。わたしは、「ちょってまって、すてないで！」と言った。前に図書館で、おもしろい本を見つけた。すててしまうような、いろいろな野さいの切れはしを水につけると、育つという本だった。一番きょう味があつたのは、じゃがいも。さい後には、たくさんのじゃがいもがとれるというのだ。本当にそうなるのか、やってみたいと思った。じゃがいものほかに、みそしるに使う、大根、にんじん、長ねぎの切れはしも、もらった。おいもがとれたら、カレーライスを作って食べたいな。

(さん考にした本)

『やさいは いきている ～そだててみよう やさいのきれはし～』(ひさかた チャイルド)

2. 研究の目的

- (1) いろいろな野さいの切れはし(長ねぎ・大根・にんじん・じゃがいもなど)を水につけて、かんさつする。
- (2) じゃがいもの葉が出てきたら、土にうえて、様子をかんさつする。
- (3) じゃがいもが実ったら、数を数えて重さをはかり、かんさつした後、食べてみる。

3. 予想

- (1) 葉や根が、たくさん出てくる。
- (2) 土にうえた方が、水につけるよりもよく育つ。
- (3) 小さいいもが、5こぐらいできる。

4. かんさつした期間

平成21年3月9日～8月6日

5. 研究の方法

- (1) ① 野さいの切れはしを、プラスチックや発泡スチロールのトレイにおいて、野さいの切り口につくように、水を入れる。
② 1日に2回水をかえる。ベランダの日かげにおく。
③ のびたくきや葉、根の長さをものさしではかる。様子をかんさつし、記ろくをとる。
④ それぞれののびをグラフに表してくらべる。
- (2) ① じゃがいもを水につけて、60日ぐらいたったら、土にうえる。いもがたくさん実ってもいいように、大きめのうえきばち(直径37cm・深さ31cm)にうえる。
② 毎日、水やりをする。ベランダの日なたにおく。
③ のびたくきの長さをはかる。様子をかんさつし、記ろくをとる。
④ じゃがいものくきののびを、グラフに表して、水につけたときののびとくらべる。

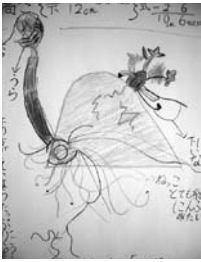
- (3) ① ジャがいもをしゅうかくする。実ったいもの数を数えて、重さをはかる。かんさつする。
 ② たねいものかんさつをする。

6. かんさつの記ろく (抜粋)

(長ねぎ、大根、にんじんの記録は、紙面の都合上省略)

・ジャがいも (2009年3月9日～8月6日)

〈5/9の記ろくより〉



下のくきが、ぐうん～とのびたよ。根っこがこんぶみたいだよ。数え切れないくらいもしゃもしゃ出てきたよ。上の方からも、赤むらさき色の根っこみたいなものが出てきたよ。下のくきのところが、下の方は、赤むらさき色で、上の方は緑色になるよ。

5/10 土にうえたよ。

〈5/23の記ろくより〉



つぼみが6こできたよ。私の手ぐらいの葉っぱが10まいぐらいあるよ。葉っぱに毛が生えていてフサフサだよ。根っこの方でおいもが5こぐらいできるかな？どんな花かな？

〈6/6の記ろくより〉



ききょうみたいな花が7つさいている。太いくきが1本たおれたので、もう1本しちゅうを立てた。森みたいになっている。おいもが10こぐらいなっているといいな。

〈6/27の記ろくより〉



葉っぱが200まい以上ありそう。「やさいは生きている」の本は、土にうえて45日目でも実っていたけれど、お父さんは、かれてからいもをとると言っていた。どちらがおいしいものかな？ベランダのさくの高さより、いものせが高い。私のおでこの高さだった。びっくり。あと2週間後には、私のせの高さより大きくなっているかな？葉っぱの全体がこすれ合うとワサワサと音をたてる。くきをゆさぶったら、花のかれたものが2つ落ちてきた。

〈7/2の記ろくより〉



おいもが3つ、土の上にモッコリと出ていた。1つは黄緑色で、2つは金色に近いおうど色だった。なぜ、色がちがうのかな？根っこみたいなものも出ていた。お父さんが、「いもは、太陽に当てちゃいけないよ」と言ったので、いもの上に土をかぶせた。土の深いところで、大きいおいもが5こぐらいできているといいな。

〈7/20のきろくより〉



いものくきの下の方を持って、よいしょ、よいしょと引っぱった。せなかがおれそうなほどぬくのが大変だった。上だけ黄緑色のものが1つあった。



ほしがきみたいに茶色くて、中味が空っぽでぶよぶよのたねいもがあった。

たて5cm、はば5cmの1つのたねいもから、24このいもができるなんてすごい！土の上の方にいもがゴロゴロなっていて、下の方には何もなかった。

〈7/31 とれたいもののおもさをはかったよ〉

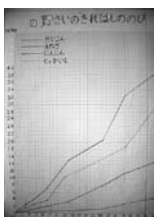


85 g	2 こ	80 g	2 こ	75 g	1 こ	60 g	3 こ	55 g	1 こ
45 g	2 こ	35 g	1 こ	30 g	1 こ	25 g	1 こ	24 g	1 こ
23 g	1 こ	22 g	2 こ	20 g	1 こ	13 g	1 こ	10 g	1 こ
5 g	1 こ	3 g	1 こ	2 g	1 こ				

とれたいもので気づいたこと

芽が出てきたいものは、10こあった。長細い形のいものが多い。いもの先の方が緑色のが3つある。お父さんが、「緑色のいものは、食べられないよ」と言っていた。2つのいもから赤ちゃんいもが出ていた。どうして大きいいもから小さいいもが出てくるのかな？じゃがいもから芽が出てきているのを見て、「全部生きているんだな」と思った

グラフ



(a)



(b)

グラフから分かったこと

- ① 水につけたときの野さいの切れはしのびは、大根・長ねぎ・にんじん・じゃがいものじゅんだった。①
- ② 水につけたときの、じゃがいものびは、かなりおそい。①
- ③ 土にうえてから、じゃがいものびるいきおいがはやい。②
- ④ じゃがいもの葉は、104 c mまでのびた後、少したれ下がってきた。②

けっかと考さつ

- ・じゃがいもがぐんぐんのびていた6 / 27までは、葉がつやつやした緑色で、花がさいた。
- ・実ったいもが、土から顔を出した7 / 2からは、下の方の葉が、黄色くなってきた。水やりをしても、葉がどんどん下にたれ下がってきた。
- ・7 / 11ごろには、葉が少しずつ茶色になってきた。さわると、しなしなふにゃふにゃしてきた。
- ・7 / 18には、たくさんの葉の回りが黄色と茶色になってきた。さわると葉がパリパリしていた。
- ・だんだん葉がたれ下がってきた理由は、土の中のいもの方にえいようがいて、くきや葉の方には、いかなかったからだと思う。

7. 分かったこと

- (1) 長ねぎ・大根・にんじん・じゃがいもの切れはしは、生きていた。
- (2) じゃがいもの切れはしからも、たくさんのいもが実った。
- (3) 実ったじゃがいもも、生きている。

8. かんそう

- ・水かえや水やり、かんさつ記ろくをとることが大変だった。
- ・すててしまうような野さいの切れはしが、かんさつするたびにのびていたこと、たくさんのじゃがいもが実ったことが、わたしにはおどろきの連続だった。
- ・野さいの切れはしは、生きている。実ったいもも生きている。いのちがつながっていることに、感動した。
- ・他の野さいの切れはしも土にうえたらもっと育つかな？調べてみたい。
- ・じゃがいもの切れはしを、さいしょから土にうえるのと、水につけてから土にうえるのとどちらがのびがはやいか、たくさんいもが実るか調べてみたい。